

区自治協議会提案事業 事業評価書

東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくり力・向上プロジェクト【事業費予算 5,000 千円】のうち じゅんさい池自然環境保全事業【事業費予算 1,740 千円】
事業目的・概要	じゅんさい池公園は、アカマツ林に囲まれ、全国的にも珍しい2つの砂丘湖があるなど、住宅地の中で貴重な緑地環境を有している自然公園であるが、近年は、外来植物の繁茂や外来生物の繁殖がみられ、生態系等に被害が及んでいる。このじゅんさい池の自然環境を守り、憩の空間づくりを進めるため、区民との協働により保全活動を行うとともに、セミナー等を通じて、課題やあるべき姿の共有を図る。
事業の実施実績 <small>実施回数、参加者数など</small>	<p>じゅんさい池ワークショップ（意見交換会） 【開催日】令和元年6月26日（水） 【内 容】じゅんさい池との関わりや思いについての意見交換 【参加者】45名</p> <p>葦・園芸スイレンの刈取り作業 【開催日】令和元年7月7日（日） 【内 容】じゅんさい池西池の葦・園芸スイレン等の除去 【参加者】約90名</p> <p>東区まちづくりセミナー「じゅんさい池ってどこ？まちづくりってなに？」 【開催日】令和2年2月16日（日） 【内 容】第1部：講演会「事例に学ぼう！東区のまちづくり」 第2部：意見交換会「あなたのまちのあるもの探し」 【参加者】98名</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効 性・効率性の評価など</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・「じゅんさい池ワークショップ」は、45名の参加があり、参加者同士で活発に意見交換をすることができた。アンケートでは回答者全員が「よかった」と回答していることから、満足度は非常に高かったと言える。「じゅんさい池を子どもに残したい」等の意見があったが、それらの意見を活かしていく方法を考える必要がある。 ・地元のコミュニティ協議会や町内会と協働して、じゅんさい池の自然環境保全を図ることができた。次世代に残していくことを視野に入れ、子どもの参加も促していきたいが、一方で危険が伴う作業もあることから、検討の余地がある。 ・「まちづくりセミナー」では98名の参加があり、講演会や意見交換会を通して、東区のまちづくりについて考えるきっかけを作ることができた。アンケートでは回答者の75%がよかった（「よかった」「どちらかといえばよかった」の合計）と回答していることから、充実した内容であったと言える。 ・2年間、自治協議会提案事業としてじゅんさい池の環境保全に取り組んできた。今後は、東区全体の事業、まちづくりの一環として、区として取り組んでいくことを期待する。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくり力・向上プロジェクト【事業費予算 5,000 千円】のうち 発災時における地域防災対応力向上事業【事業費予算 770 千円】
事業目的・概要	発災時に地域住民等からの対応を求められることが想定され、地域の特性や住民の状況等を認識している自治（町内）会の防災対応力を高めていく必要がある。これまで地域コミュニティ協議会を対象にワークショップや情報伝達訓練を実施してきたが、自治（町内）会を対象としたワークショップ等の研修会を地域コミュニティ協議会単位で開催する。
事業の実施実績 実施回数、参加者数など	<p>【開催日】①令和元年12月 9日（月）午後1時30分～4時 ②令和元年12月10日（火）午前9時30分～正午 ③令和元年12月10日（火）午後1時30分～4時</p> <p>【内 容】震度6の地震の発生を想定し、住民の安全確保に必要となる自治会・町内会の初動対応を考えるワークショップ 講義（30分） ワークショップ（70分） 発表（30分） まとめ（10分） 講師：中越防災安全推進機構</p> <p>【対 象】区内の自治会・町内会の役員及び防災士</p> <p>【参加者】計 188名 ① 70名 ② 55名 ③ 63名</p>
事業の評価 地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効 性・効率性の評価など	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災対応力を向上させるため、東区内を3つに分けて、自治会・町内会を対象としたワークショップを開催した。町内会・自治会で参加者数にばらつきがあったものの、全体としては、3回の合計で188名と大勢の参加があった。 ・ワークショップでは参加者同士で活発な意見交換がされ、その場限りではなく、地域に持ち帰って次につながる話し合いができていた。 ・アンケートでは96%が「参考になった」「大変参考になった」「参考になった」の合計と回答していることから、地域で防災について考えるきっかけになったと言える。今後も、自治会・町内会で自主的に防災の備えに取り組んでほしい。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくり力・向上プロジェクト【事業費予算5,000千円】のうち 東区めぐり子どもバスツアー【事業費予算160千円】
事業目的・概要	東区内の特色ある施設を実際に訪れ、見て学び体験することにより、東区の魅力の再発見と東区に対する愛着を深めることに繋げる。 また、他校の児童との交流により、子どもたちが社会性を育む機会を提供する。
事業の実施実績 実施回数、参加者数など	【日 時】令和元年8月20日（火） 午前9時20分～午後4時15分 【参加者】小学4～6年生 37名 （4年生：22名、5年生：9名、6年生：6名） 【見学先】新潟新幹線車両センター、新潟空港屋上、 山の下閘門排水機場、航空自衛隊新潟分屯基地
事業の評価 地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効 性・効率性の評価など	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を上回る多くの申し込みがあり、参加した小学生へのアンケートでも満足度は昨年度を上回る97%となり大変好評で、喜んでいる子ども達の様子が印象的だった。 ・参加者の体調管理や昼食内容などの前回の反省点を踏まえて実施した結果、全体を通して大きな問題もなく終えることができたが、見学先については学校の授業と重複するところもあり、さらに考慮できれば良かった。 ・様々な学校から参加があり、4年生が半数以上を占める中、5・6年生の参加も見られたことから、他校や他学年との交流を図る機会となった。 ・過去4回の実施により事業目的を達成したと考えられることから、自治協議会としての実施は今年度で最後とし、これまでの実施状況をまとめた報告書を地域へと配布したことも大きな成果であるとする。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくりカ・向上プロジェクト【事業費予算5,000千円】のうち 東区の魅力PR・おもてなし事業【事業費予算800千円】
事業目的・概要	東区には多くの魅力があるが、報道等で取り上げられる機会が少ないため、 区づくり事業で実施する「ゆめ・のせ・あがれ！寺山こい来いフェスタ」と連 動し、東区の魅力をPRするとともに、東区にまた来たい、住んでみたいと思 ってもらえることを目的に実施する。
事業の実施実績 <small>（実施回数、参加者数など）</small>	<p>イベント広報 「ゆめ・のせ・あがれ！寺山こい来いフェスタ」について、チラシや テレビ番組等で広報 【放送日】令和元年5月3日（金・祝）</p> <p>おもてなしスペースの設置 来場者の休憩スペースとしてテントを設置 【実施日】令和元年4月26日（金）～5月6日（日）</p> <p>効果検証 効果検証のためのアンケート実施 278名分集計 【実施日】4月28日（日）、30日（火） 5月1日（水）、3日（金）、6日（日）、12日（日）</p>
事業の評価 <small>（地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効 性・効率性の評価など）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシやポスターを作成し、公共施設等に配布したことで、幅広く周知することができた。 ・飲食ブースの横に設置したことで、テントで休憩している方達が飲食ブースを利用するきっかけを作ることができた。 ・設置した場所が人の集まりやすい遊具から遠く、利用者が少なかったため、今後実施する場合は、設置する場所を検討する必要がある。 ・アンケートを実施したことで、参加者の年齢層や居住区、参加した感想などを確認することができ、来年度以降イベントを開催する際に参考となる情報を提供することができた。 ・実行委員会と連携して、東区内のコミ協や小中学校、企業と共にお互いの強みを生かしながら、本事業を実施できたことは、大きな成果と考える。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくり力・向上プロジェクト 【事業費予算 5,000 千円】のうち 東区の公共交通の研究【事業費予算 300 千円】
事業目的・概要	超高齢社会の進展とともに、公共交通の需要と関心は高まっており、需要を的確に捉えながら、持続可能な公共交通体系を構築することが求められている。東区の公共交通が抱える課題を調査・研究し、問題を解決するための方策を検討する。
事業の実施実績 <small>実施回数、参加者数など</small>	<p>公共交通に関連した市内視察 【開催日】令和元年12月12日(木) 【内 容】移動スーパー事業の取り組みの紹介、現地視察(株式会社 マルイ) 住民バスの取り組みの紹介、住民バス乗車(新潟島に循環バスを走らせる会) 【参加者】東区自治協議会委員13名</p> <p>公共交通に関連した学習会 【開催日】令和2年2月7日(金) 【内 容】第1部 講演会(講師:交通ジャーナリスト 鈴木 文彦氏) 第2部 講師と自治協議会委員との意見交換会 【参加者】第1部 東区自治協議会委員20名 東区内地域コミュニティ協議会等の希望者21名 第2部 東区自治協議会委員14名</p> <p>東区生活交通改善プランの検討 【内 容】東区生活交通改善プランの改定方針の確認 東区生活交通改善プラン(改定案)の確認(意見聴取3回)</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効 性・効率性の評価など</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関連した市内視察で学習した移動スーパーと住民バスの取り組みは、地域の生活交通を考えるうえで重要であるため、今後の自治協議会の活動に役立つものとなった。 ・公共交通に関連した学習会では、地域の方にも参加していただいたことで、地域での活動にも役立つものとなったと考える。 ・公共交通が抱える課題を解決するためには専門的な知識が必要なことが多い。本事業で学習の機会を創出したことで、今後の自治協議会での事業の基礎とすることができた。 ・東区生活交通改善プランの検討では、改定内容を確認(意見聴取)し、計画に地域の声を反映することができた。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくり力・向上プロジェクト 【事業費予算 5,000 千円】のうち 東区の農産物魅力発信事業【事業費予算 740 千円】
事業目的・概要	東区には、馬鈴薯、やわ肌ねぎに代表されるような特産の農産物があるが、区民の認知度は高いとは言えない。平成30年度に実施した料理アイデアコンテスト応募作品の活用や各種媒体等によるPRを行うことで、東区内に誇れる特産品があることを周知し、生産者や区民の誇りづくりに繋げる。
事業の実施実績 実施回数、参加者数など	<p>東区区民ふれあい祭でのPRブース出展 【開催日】令和元年7月15日（月・祝） 【内 容】 東区産農産物等の直売（JA新潟市が協力）、東区産馬鈴薯を使った料理アイデアコンテスト入賞レシピ集の配布、区自治協議会認知度向上のためのアンケートの実施、区自治協議会の広報紙の掲示</p> <p>東区安全・安心ファミリーフェスタでのPRブース出展 【開催日】令和元年10月27日（日） 【内 容】 東区産男爵いもとベーコンのケーキサレの試食（新潟市食生活改善推進委員協議会が協力）、東区特産農産物の認知度アンケートの実施（回収数402）、アンケート協力者への東区産馬鈴薯プレゼント、東区産馬鈴薯を使った料理アイデアコンテスト入賞レシピの掲示・レシピ集配布</p> <p>東区の特産農産物を使った親子料理教室 ※令和2年2月29日実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 【内 容】保護者向け地産地消講座 小学生向け東区産農産物を使った調理実習</p>
事業の評価 地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効 性・効率性の評価など	<ul style="list-style-type: none"> ・東区区民ふれあい祭でのPRブース出展では、JA新潟市から協力を得て、農産物等の直売を実施することができた。来場者約14,000人のイベントで、実際に東区産農産物に触れる機会を提供することができ、効果的に東区産農産物の知名度を向上させることができた。 ・東区安全・安心ファミリーフェスタでのPRブース出展では、新潟市食生活改善推進委員協議会の協力を得て、東区産馬鈴薯を使った料理の試食を実施することができた。来場者約1,600人のイベントで、東区産農産物の美味しさを伝えることができ、効果的に東区産農産物の知名度を向上させることができた。 ・各イベントでのPRブースの出展では、昨年度の自治協提案事業で実施した料理アイデアコンテストの入賞作品を活用したPRをすることで、東区の特産農産物を広く区民に発信することができた。 ・東区の特産農産物を使った親子料理教室は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となったが、定員20名に対して19名の申し込みがあった。
備考	